

— 八月六日広島にて、矢須子 —

黒い雨

原作 井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

上演台本 笹部博司

演出 丹野郁弓

照明 古宮俊昭

効果 岩田直行

製作 劇団民藝

企画 リューとぴあ 新潟市民芸術文化会館

出演 奈良岡朋子



Photo = Jun Ishikawa Design = Tatsuya Ariyama + Yui Yamamoto

八月六日広島にて、矢須子

黒い雨

原作 井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

出演 奈良岡朋子

上演台本 笹部博司

演出 丹野郁弓

井伏鱒二 いぶせ・ますじ

「黒い雨」はささやかな日常生活を送っている
閑間重松・シゲ子夫妻と姪・矢須子の家族の物語です。
矢須子を何とか嫁がせようとする夫婦ですが、
次第に悲しい事実が明らかになります。
未曾有の惨事に巻き込まれながらも、
平常心を失わずに暮らしを営む人びと。
淡々と進む物語の背景には、
市井の人びとをおそった原爆の悲劇が厳然とあります。
戦後72年のいま、「黒い雨」をもたらしした戦争とは何なのか――
奈良岡朋子が語る一人舞台を通して
一緒に考える機会となれば幸いです。

1898年、広島県生まれ。本名、満寿二。中
学時代は画家を志したが、長兄のすすめで志望
を文学に変える。1929年『山椒魚』等で文壇
に登場。38年『ジョン万次郎漂流記』で直木賞を、
50年『本日休診』他により読売文学賞を受賞。
65年より『新潮』誌に当初「姪の結婚」のタイ
トルで連載した「黒い雨」により野間文芸賞を受
ける。66年文化勲章を受章。93年、95歳で逝去。

奈良岡朋子 ならおか・ともこ



©橋本 哲

みなさまへ

四年前初めての挑戦となった一人舞台「黒い雨」。

たくさんの方の反響をいただき、

私の小さなライフワークとして

みたび皆様にお届けいたします。

やさしさを与え、

愛することをあきらめないで生きつづける。

井伏鱒二さんが描く「黒い雨」の世界を

お客様と私だけの劇空間で

共有できるのを楽しみにしています。

奈良岡朋子

1929年、東京生まれ。48年に民衆芸術劇場
(第一次民藝)の研究生となり、50年劇団民藝の
設立に参加。現在は代表。初舞台は『女子寮記』
(48)、『火山灰地』、『ドライビング・ミス・デイズ』
で毎日芸術賞と朝日舞台芸術賞など受賞多数。
最近の舞台はホートン・フット作『パウンティフ
ルへの旅』キャリー・ワッツ、小幡欣治作『根岸
庵律女』正岡八重、テネシー・ウィリアムズ作『二
人だけの芝居』クレアなど。舞台を中心に映画、
テレビにも数多く出演。12月には『仕事クラブ』
の女優たち』に出演予定。